

教育目標：○自ら学び、よく考える ○進んで協力し、他人を思いやる ○心身ともにたくましく、最後までやりぬく 目指す学校像：○生徒が主体的に学び活動する学校 ○教職員が協働して教育活動を創造していく学校 ○保護者や地域社会から信頼される学校 目指す児童・生徒像：○自分の夢に向かって意欲的に学ぶ生徒 ○他人のために労を惜しまない心豊かな生徒 ○強い意志と自信をもち、たくましく生きる生徒 目指す教師像：○教育に対する熱意と使命感に富む教師 ○一人一人の良さや可能性を引き出せる教師 ○研修意欲に富み互いを高め合う教師
--

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標 (中間)	努力指標 (最終)	成果指標 (中間)	成果指標 (最終)	分析コメント	改善策
笑顔と誇り	互いに認め合い、高め合い、学びあうことで、思いやりと豊かな心を育み、ひとり一人が居場所と感じ、安心して成長できる集団を育成する。	自己肯定感を育て、居心地感を高めることで以下の改善を図る。 ①いじめ、不登校 ②多様性を認め合える集団作り ③「分三魂（誇り・団結・克服）」 ④心身の健康	教育相談機能の強化と、一人一人の自尊心を高めるコンプリメントを推進する。	4	4	2	2	関係調査項目の「自分は人の役に立っている」は、67.0%であった。教育相談的対応も行っているが、未だ自尊心の高まりには至っていないことが課題である。今年度の結果を踏まえ、目標値を検討する必要がある。	コンプリメントに基づく指導を継続する。達成感や充実感を体感できる活動を推進し、教職員が組織的に生徒の良さを引き出し、指導の充実を図る。また、保護者から生徒への肯定的な言葉かけを促進する等、学校と家庭との連携を高める必要がある。
			学校行事や生徒会活動、部活動を充実させ、異年齢交流や多様性を認める活動を推進する。	-	4	4	4	生徒会活動・学校行事を計画どおりに実施することができた。学校行事等における、生徒の充実感や達成感の割合は、93.4%と高かった。コロナ禍で実施できなかった、異年齢交流を全ての行事で行うことができた。	今年度の成果と課題を踏まえ、学校行事の充実を目指すために、来年度の合唱祭は、昭島市のFOSTERホール（昭島市民会館）で開催する。さらに、生徒会活動、部活動での異年齢交流の活性化を図る。
確かで豊かな学力	分かる授業、興味・関心のわく授業の実現に努め、確かで豊かな学力の定着を図る。	基礎学力の充実に加え、協働的な学びやICTを活用した学びにより、主体的な学習者を育成する。	ユニバーサルデザインに基づいた授業づくりと補習教室等での個に応じた指導を行う。	4	4	4	4	生徒からは91.1%（前回90.9%）の高評価であり、丁寧な学習指導が進められている。また、サポート教室を活用している生徒も増加し、個に応じた指導の充実を図ることができた。	保護者からの評価が、68.0%と低かったため、土曜授業日や学校公開日等で保護者に授業を参観していただく機会を増やす。また、学生ボランティアによる放課後学習教室を可能な限り多く設定し、生徒の基礎学力の定着への支援を図る。
			ICTや言語活動を活用し、思考力・判断力・表現力の伸長と知識だけでなく学力を育成する。	3	4	3	4	生徒からは85.1%（前回84.9%）の高評価であった。昨年度同様、ICTの活用に適した授業内容とそうでないものが確認できた。また、対話的な学びを実践しているため、言語活動の取り組みは充実している。	教職員がICTを活用することが日常化され、他の指導法との効果的な組み合わせを研究している。来年度は、各教科において、生徒の活用の幅を広げるような工夫が必要である。
未来へ開かれた教育	地域や多様な教育資源を活用し、生徒の社会貢献や奉仕への意識を高める。	自校でのESD(SDGs)推進を行い、校区へも広げる。保護者や外部人材を活用した多様な教育活動を工夫し、主体的に他者や地域・社会へ貢献する態度を育成する。	防災を中心とした地域連携を推進し、生徒の社会貢献への意識を高める。	-	4	-	4	2月には、第2学年で地域の防災協会や防災安全課と共に、HUGを行い、連携を深めた。安全指導の一環として、防災訓練等は予定どおり実施した。	来年度から完全実施となる「国分寺学」に向け、小中連携教育の充実を図る。人と学びが循環するまちを目指すための、系統的な指導の充実を図る。地域に親しみ、地域に学び、地域を考え、地域に貢献する「国分寺学」につながるような行動を推進する。
			学校だより等やブログでの積極的な情報発信を行う。	-	4	-	4	1日に500回以上の閲覧数があった。目標を大きく上回るブログ発信をしており、保護者からの評価も高い。特に、宿泊行事の生徒の様子を知る有効な伝達手段となっている。	今回の保護者の高評価93.5%を維持できるように、引き続き学校の様子を学校だよりやブログ等で伝える取り組みをする。